

# 実話をもとにした 心あたたまる絵本

全国学校図書館研究大会講師  
『クラウドシアのいのり』  
の村尾靖子・著



**10月中旬発売予定!**  
ご予約はお近くの書店まで

## おじちゃんせんせい だいたい だーいすき

むらおやすこ・作 山本祐司・絵

今人舎・刊 A4変型判 32ページ 本体1400円+税(予価)



### ◎おはなし◎

にじの保育園におじちゃん先生がやってきた。けいたくんは、お昼寝のたびに「おかあさん」と泣く。おじちゃん先生はけいたくんをおんぶして外に出、「おもいきり泣けや」という。

チューリップの球根植え、夏のお楽しみ会、運動会、クリスマスの準備など、おじちゃん先生はいつも園児ひとりひとりを見守り、愛情を注いでくれた。病気で帰らぬ人となっても、園児の心の中に生きている。——埼玉県の実話をもとに作られた、心あたたまる絵本。

### むらおやすこ (村尾靖子)

1944年、山口県生まれ。結婚後、4人の子育てをしながら執筆活動を始め。島根県文化奨励賞受賞。「ラジオ深夜便」(NHK)リポタ。作品に『クラウドシアの祈り』(ポプラ社)、『命をみつめて』、『草原の風になりたい』(ともに岩崎書店)、絵本の作品に『琴姫のなみだ』(岩崎書店)、『クラウドシアのいのり』(ポプラ社 第14回日本絵本賞読者賞受賞)などがある。

### 山本祐司 (やまもとゆうじ)

1966年、京都市生まれ、大阪デザイナー専門学校卒業、セツ・モードセミナー卒業、ザ・チョイス年度賞受賞。本の装画、絵本、紙芝居、挿絵などで活躍中。主な作品『ぼくをいじめるとねえちゃんくるぞ』(岩崎書店)、『パパのるすばん』(ポプラ社)、『ヒマワリの絵本』(農文協)、『たべものかるた』(ほるぷ出版)など。日本図書館設計家協会会員、日本児童出版美術家連盟会員。

## 小羊保育の実話が絵本になりました

昨年7月 行田職員で愛称「おじちゃん」が亡くなりました。すると子ども達に様々な変化(奇蹟)が起きました。園児達の心の中でおじちゃんがどんなに大きかったかを連絡帳や子どもの日常生活の中で大人が気付かされ、感動させられました。

今の時代、心の交わりが軽く取り扱われる世の中で、小羊の理念、保育の中に生き残っていた事の証ともなり、絵本ができました。

著者 村尾氏 絵を山本氏(おじちゃんによく似た心の持ち主)によって10月完成し、現在 全国図書館研究大会の大きな話題となって広がっています。直接園舎や子どもと接し出来上がった山本先生に感謝し、講師としてお招きする事ができました。